

## 2年次 中野 響己

静岡の冬は思っていたより寒く、自転車を漕いでいるとハンドルを取られるような横風、向かい風も吹き付けてきます。似たようなチェーン店の並ぶロードサイド、歩行者のまばらな町並みはある種殺風景かもしれません。そんなこの地で自分を迎えてくれたのは、しかし、寛容で鷹揚で、いつもあたたかく接してくれる人々でした。

自分は(特に手先が)相当危なっかしい方で、担当になった患者さんや上級医の内心の不安はいかばかりであったかと思います。そういった研修医が何とか修了出来たのは、最高の同期研修医たち、お世話になった先輩後輩、忙しい中でも指導に時間を割いて下さり、慣れてきたら色々な業務を経験させ、同じ職員として尊重してくださった皆様、そして研修医を受け入れてくださった患者皆様のおかげです。

しかし二年間ずっとぬるま湯に浸かっていたかといえ、必ずしもそうではありません。各診療科の先生方から、数え切れない失敗を厳しく指導頂きました。

その中で特に私の心に響いたメッセージは、他人を盲信せず、自分の考えを持て、ということでした。相手が指導医であれ年長のコメディカルスタッフであれ、自分で観察し、情報を収集し、評価するという愚直な思考過程を省略してはいけない、ということだと胸に刻んでいます。

これらは奇しくも当院の掲げる目標そのものかもしれませんが、分析的、批判的思考と、人間らしいあたたかい感情を兼ね備えられるよう、今後も精進してまいります。

この場を借りてこれまでお世話になった皆様に御礼申し上げます。本当にありがとうございました。



## 2年次 野村 太一

2年間の貴重な研修の機会をいただき誠にありがとうございました。

地元である志太榛原地域で研修を始め、この2年間は本当に沢山の縁に助けられました。

指導して下さる先生方、先輩後輩、コメディカルの方々、教育研修センターの方々、そして関わってくださった多くの患者さんに温かい声をかけていただき、どんなに辛いことがあってもここまで乗り越えてくることが出来ました。

何よりも優秀で素晴らしい同期に恵まれ、仕事中はもちろん、プライベートでも楽しいことが沢山ありました。2年間楽しく研修することが出来たのも同期のおかげです。ありがとう。

振り返ってみるとあっという間の2年間でした。

研修が始まったばかりの頃は右も左もわからず、問診すら怖くて緊張していました。しかし患者さんはそんな僕に嫌な顔をせず診療に協力してくださり、勇気を出して一歩ずつ成長することが出来ました。2年間の研修で便利な手技や検査

を色々学びましたが、何より一番大切なことは患者さんの話を「聞いて」、身体を「見て・触れる」ことであると患者さんから教えていただいたように思います。

来年度からは家庭医になるために北海道家庭医療学センターで4年間勉強してきます。皆様に成長した姿をお見せできるよう、精一杯頑張ります。また4年後、静岡に戻ってきたときには何卒よろしく願いいたします!



vol. 150-3  
2024/3/31

発行: 教育研修センター

令和5年度  
初期研修医修了式

令  
和  
5  
年  
度

& 藤枝ドクターズクラブ

3/23

(土)

10:30~

14:30

小杉苑